

地域みらい留学 合同学校説明会 2021

開催レポート



主催：（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム
地域みらい留学推進協議会
共催：島根県教育委員会
後援： 内閣府、総務省、文部科学省

Supported by 日本財団





01 地域みらい留学について

- ・ ご挨拶 P04
- ・ 地域みらい留学概要 P05
- ・ 参画校情報 P06

02 合同学校説明会2021のご報告

- ・ 地域みらい留学合同学校説明会2021 P08-P11

01 地域みらい留学の概要

地域みらい留学

地域みらい留学 365

「逆境」「越境」「熱狂」3つの成長機会

人間が大きく成長する3つの機会がある。

1つ目は、「逆境」。きつい、厳しい、苦しい、つらいに代表される苦境。ある種の修羅場体験。人は、飾ったり格好つけたりしてられない困難な局面に立ったとき、本能があらわれ、本気になり、今までの「限界」を超えた力を発露させたりする。苦悩、理不尽、挫折、板挟み...涙も出るような時間を乗り越えていった先に、どこか凜とした、たくましさをは醸し出していく。「艱難汝を玉にす」「若い時の苦労は買ってでもせよ」とは、よくいったものである。

2つ目は、「越境」である。慣れ親しんだ環境を越えて、異文化に入ること。既知の範囲から未知の領域に足を踏み入れること。異分野での新たな挑戦や、異郷、辺境に入るような旅や冒険など。予定調和を越えた想定外を幾度となく体験することを通して、自分にとっての「当たり前」「常識」が問い直され、既存の価値観、固定的な見方・考え方が揺らぎ、自己の再発見、再構築につながっていく。そのなかで、しなやかさや人としての度量・器量が育まれる。「かわいい子には旅をさせよ」である。

3つ目は、「熱狂」である。情熱をもって無我夢中に取り組むこと。興味関心への探究から生まれやすい、没入、忘我体験。周囲が考える「一般」や「普通」「バランス」といった枠や境を越えた、甚だしい行動や挑戦。湧き上がる好奇心や止むに止まれぬ冒険心、蒸気が立ちのぼるような熱量。こうしたのめり込み体験を通して人はバイタリティーや生命力を増強させていく。地域みらい留学は、「越境」そのものである。そして、おそらく留学先の新たな環境のなかで「逆境」に陥ることができるだろう。自分の直感を信じて動き周れば、「熱狂」にはまることもあるだろう。

これら3つは、ときに痛みも伴う非連続で飛躍的な成長機会である。
今の自分、今の環境を変えたくなければ、成長したくなければ、痛みと向き合う覚悟ができていなければ、地域みらい留学はやめた方がよい。

選ぶのは自分だ。

越えていこう、今までの自分を、今までの「当たり前」を越えて。
未知なるセカイへ。未来の自分へ。今、踏み出そう。

「逆境」「越境」「熱狂」3つの成長機会



一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
代表理事 岩本 悠

なぜ今、「地域みらい留学」なのか？

日本社会の
変化

1

少子高齢化と人口減少

2060年には、日本の人口は現在の3分の2（約8700万人）へ。超高齢化社会による労働力人口減少の課題も抱えている。

2

急激な社会の変化

財政赤字、競争力の低下、医療や年金などの社会保障制度、子育て、女性の社会進出など、日本にはこれから解決すべき課題が山積み。

3

2020年度から 大学入学共通テストが開始

「主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度（文部科学省）」を育てるため2020年度から新しい大学入試が実施。

こうした正解のない世界を生きていくために、

自分の意思で挑戦を続け、自ら未来をつくる力が求められます！

課題解決先進地である日本の地域には、挑戦の機会が溢れています。

「地域みらい留学」の魅力



本物の自然や文化にふれる！

都会にはない美しい海、山、川。旬な食べ物、きれいな空気、静かな環境。地域ならではの文化や豊かな人間関係の中で感性が磨かれ、人間力が高まる高校3年間をおくれます。



新たな友達、世代を超えた 仲間との出会いがある！

全国から来た生徒、地元から進学した生徒、地域住民の方など、さまざまな人々との出会いがあります。多くの地域には高校と地域を結ぶコーディネーターがいるため、地域と交流しやすい環境です。



ここでしかできない 挑戦がある！

自然環境や伝統芸能に特化した部活動、地域の特色を活かした探究学習やキャリア教育等、挑戦できる環境と失敗を遠く受け入れてくれる仲間がそこにはいます。



少人数教育で全員が主役！

一学級の人数が少ない分、役割をもつ機会が多くなり一人ひとりが主役に。自信、向上心、好奇心が生まれ、コミュニケーション能力が高まります。



地域が見守る安心な環境で 自律した生活ができる！

学校の先生だけでなく、地域住民の方も生徒の顔と名前を知っていることが多く、安心して暮らせる環境です。寮やホームステイでの生活を通して、思いやり、協働力、自律心や行動力が身につきます。



都会や海外に比べて 少ない費用！

一ヶ月の生活費は寮費込みで1万円～6万円程度。都会の物価水準や海外留学と比較しても、ローコストで生活できる環境が整っています。

3years
365

13道県
34校（2018年）



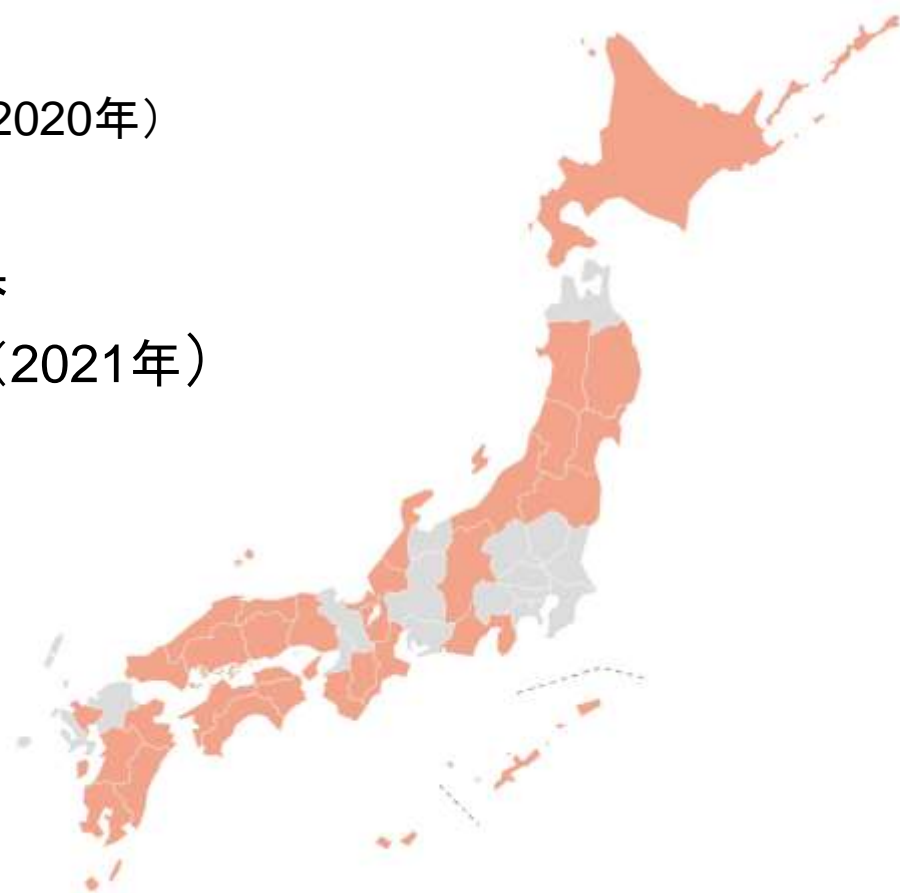
26道県
55校（2019年）



25道県
68校（2020年）



27道県
78校（2021年）



02 合同学校説明会2021のご報告

地域みらい留学

地域みらい留学365

開催日

6月・7月・8月・9月・10月の計10日程（うち3日程は365と同時開催）
※すべてオンライン

予約者数 **2,012組4,024名**（365含む）

※2020年度：1,728組 3456名（中学生または高校生と親で1組としています）

▼地域みらい留学3年（高校進学）

| | 開催日 | 内容 | 予約者数 (UU) |
|---|----------------------|--|----------------|
| ① | 6月5日(土) 6月6日(日) | オープニングセッション テーマ別説明会・学校個別説明会（相談会） 経験者が語る | 665組 1,330名 |
| ② | 7月3日(土) 7月4日(日) | オープニングセッション テーマ別説明会・学校個別説明会（相談会） 経験者が語る・進路相談会 | 289組 578名 |
| ③ | 7月31日(土) 8月1日(日) | オープニングセッション テーマ別説明会・学校個別説明会（相談会） 経験者が語る・進路相談会 | 202組 404名 |
| ④ | 8月28日(土) 8月29日(日) | オープニングセッション テーマ別説明会・学校個別説明会（相談会） 経験者が語る・進路相談会 | 247組 494名 |
| ⑤ | 10月3日(日) | オープニングセッション・6分間学校説明会 バーチャルオープンスクール・学校個別説明会（相談会） 経験者が語る・志望理由書の書き方教室 | 189組 378名 |
| ⑥ | 10月30日(土) | オープニングセッション 6分間学校説明会・学校個別説明会（相談会） | 70組 140名 |

▼地域みらい留学365（高2留学）

| | 開催日 | 内容 | 予約者数 (UU) |
|---|----------|---|--------------|
| ① | 7月4日(日) | オープニングセッション・学校個別説明会（相談会） 今後のステップ説明会・事務局相談・一期生留学体験談 | 138組 276名 |
| ② | 8月1日(日) | オープニングセッション・学校個別説明会（相談会） 今後のステップ説明会・事務局相談・一期生留学体験談 | 94組 188名 |
| ③ | 8月29日(日) | オープニングセッション・学校個別説明会（相談会） 今後のステップ説明会・事務局相談・一期生座談会 | 118組 236名 |

<主なイベント>

オープニングセッション（6月～10月）

合同学校説明会に参加される方にはまずこのオープニングセッションへの参加を促しました。内容は、地域みらい留学の概要、合同学校説明会への参加方法でした。地域みらい留学の考え方を理解していただいた上で、参加者に合ったイベントに参加いただく流れを作ることができました。



各種説明会（6月～10月）

事務局主催として、昨年好評だったテーマ別学校説明会をメインイベントに、時期に応じてテーマ自由の6分間学校説明会も開催しました。また、各校主催のイベントとして、学校別説明会や個別相談の他に、バーチャルオープンスクールを実施してもらいました。

<テーマ別説明会：6種類のテーマに合わせて3～5校が6分間ずつ行うショートプレゼン>
学校名で選ぶのではなく、参加者がどのような特徴を持った学校に行きたいのか考え、そのテーマに合ったプレゼンを聞くことで、参加する前には知らなかった高校との出会いを創出し、新たな選択肢との出会いの場とする。



＜その他イベント＞



経験者が語る（6月～10月）

地域みらい留学をした先輩たちの声を届けるイベントを行いました。

地域みらい留学に行く前に想像していた生活や学びと実際はどう違ったのか。良かったことはもちろん想像していなかった苦悩もあったそうです。それを乗り越えたことも含めて、地域みらい留学をしてよかったという声が参加者に伝わったと思います。体験者の声はリアルで心に響く内容がたくさんありました。

進路相談会（6月～8月）

毎年域みらい留學生の輩出をしてくださっている塾の、塾長による進路相談を行いました。

参加者それぞれの悩みに今までの進路相談の実績を活かし、一対一の個別面談の形式で丁寧にアドバイスをさせていただきました。

志望理由書の書き方教室（10月）

受検に向けての不安解消のきっかけの場として、志望理由書の書き方教室を開催しました。

オープニングセッション（7月～8月）

初めて地域みらい留学合同学校説明会に参加いただく方向けに、事務局より、まずは「地域みらい留学365」の概要をお伝えしました。また、留学先の15校がそれぞれの魅力を伝える1分間プレゼンの時間を設けることで、当日どの学校の説明ブースに参加するか、ここで全校のプレゼンテーションをみることで、考えていただけるようにしました。

地域みらい留学365を知り、15校のプレゼンを見ることで、いろいろな学校との出会いを作れるようにしました。

今後のステップ説明会

合同学校説明会に参加してから、どのようなステップで留学先へ応募するのかという今後の流れや留学に必要な手続きについての説明会を開催しました。

事務局相談

教育課程に関する相談や在籍校とのやり取りについての相談など、留学希望者やその保護者のお困りごと、悩み事について、少人数での相談会を開催しました。

一期生留学体験談・座談会

実際に留学した一期生数名による体験談イベントと座談会を実施しました。そもそもなぜ留学しようと思ったのか、実際に留学して地域でどんな挑戦をし、どんな変化や成長があったのかなど、留学のリアルな体験を一期生に直接聴いたり、留学に行くにあたっての相談をできる機会にしました。

学校個別説明会・学校個別相談会（7～9月）

留学先の高校がそれぞれ、留学期間の一年間で経験できることなどを説明したり、留学を検討している参加者の個別の質問や今の気持ちにお答えしました。

留学にあたり、いくつか自分の気になる学校に聞いてみたいことや相談してみたいことがある参加者が、この時間に直接学校に個別で質問・相談をすることで、最終的な留学希望校を選択したり、留学にむけた不安の解消や留学先でやってみたいことなどをより具体化できるようにもしました。